

## 平成23年県政10大ニュース

- ① 東日本大震災と大分県地域防災計画の見直し
  - ・被災地支援と被災者受け入れ
  - ・大分県地域防災計画再検討委員会を設置し見直し作業
  - ・災害時医療体制の拡充
  - ・学校防災対策強化
  - ・環境放射能、食品等の放射性物質の監視体制を強化
  
- ② 大幅節電と新たなエネルギー政策の展開
  - ・夏はオフィス部門を中心に「できる範囲」で、冬は「平日の8～21時において5%以上」の節電実施
  - ・自然エネルギー自給率日本一をふまえて新たなエネルギー政策の展開
  
- ③ 「安心・活力・発展プラン2005」を改訂
  - ・中間見直し策定委員会で20回の審議を経て素案策定
  - ・おおいた農山漁村活性化戦略2005改訂
  - ・第3期広瀬県政スタート
  
- ④ 県立美術館建設スタート
  - ・建設地に大分市旧厚生学院跡地を選定(5/30)
  - ・全国から応募のあった152者から(株)坂茂建築設計の平賀信孝氏を設計者に選定(12/1)
  
- ⑤ 順調な農業企業参入と新規就農者の増加
  - ・今年も順調な農業企業参入(H23年11月末現在20件…対前年同期+2件)
  - ・新規就農者の増加(H23年度9月現在112人…対前年同期+25名)
  - ・県域流通体制の整備(夏秋ピーマン、高原白ねぎ)
  - ・豚凍結精液技術の特許登録
  - ・他方で葉たばこ農家のうち149戸253haが廃作申請、うち135戸188haは営農継続予定
  - ・「大分県鳥獣被害対策本部」設置、イノシシ・シカの初の県内一斉捕獲に951人の猟友会員が参加し、イノシシ78頭、シカ159頭を捕獲(10/16)
  
- ⑥ B-SAT(家畜伝染病防疫対策チーム)発足
  - ・大分市で高病原性鳥インフルエンザ発生(2/2)
  - ・迅速な初動防疫を図るB-SAT発足
  
- ⑦ 「東九州メディカルバレー構想」、医療産業拠点づくりの挑戦始まる
  - ・総合特別区域法に基づく地域活性化総合特区に指定(12/22)
  - ・大分大学医学部に川澄化学工業との連携による臨床医工学講座設置
  - ・大分県医療産業新規参入研究会設置(地元企業45社、支援機関5機関参加)

- ⑧ 大型クルーズ船「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」初入港
- ・大分県海外戦略の策定及び海外プロモーションの展開
  - ・「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」が4回別府港に入港（8月）
  - ・別府・阪神航路開設100年
  - ・「おおいた竹ものがたりinせんちゅうパル」や「まちあるき観光列車」等、関西地域からの誘客強化
- ⑨ 果敢に しつこく 教育改革
- ・学力向上支援教員、体育専科教員を大幅増
  - ・「基礎・基本の定着状況調査」で5教科中4教科が全国平均超え
  - ・部活動における生徒輸送の安全対策を見直し、運行委託補助制度創設
- ⑩ 大分駅付近連続立体交差事業と周辺総合整備進む
- ・大道陸橋の撤去無事終了、時差出勤等の県民の協力により工期を大幅短縮
  - ・大分駅ビルの計画概要発表(11/15)

## 【梓外】

（記憶に残る記録）

- ・17年ぶりの記録的小雨、渇水対策の実施（4～5月）
- ・第59回全国乾椎茸品評会で13年連続、通算45回目の団体優勝（7/6）
- ・プロ野球ソフトバンクホークス内川聖一選手がセ・パ両リーグで首位打者に（10/22）
- ・東九州龍谷高校女子バレーボール部が高校総体女子バレーボール競技大会で優勝(8/1)
- ・第66回国民体育大会の4競技（クレール射撃競技別総合、ライフル射撃成年男子、フェンシング競技別総合、フェンシング少年男子フルーレ）で優勝（9～10月）
- ・国東高校工業技術部が第19回高校生ロボット相撲全国大会自立型部門で女子チームとして史上初の優勝(11/13)

（記念の年）

- ・大分空港移転40周年
- ・大分県立芸術文化短期大学創立50周年
- ・フラッグショップ「坐来大分」5周年
- ・日田梨栽培100周年